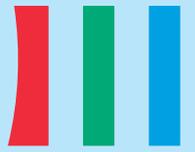
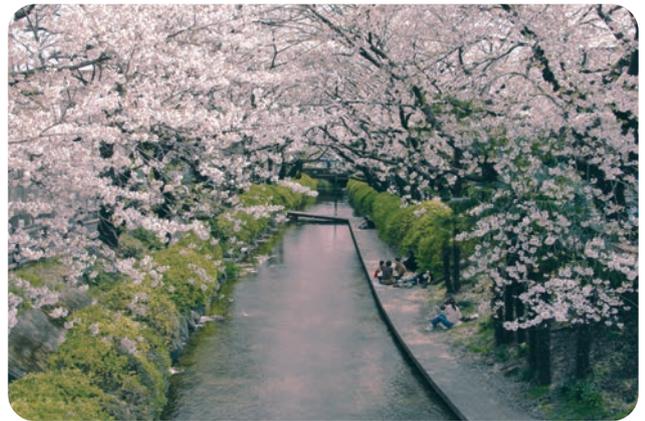


# かわさきの 道と川



川崎市

くらしをまもる  
くふうがいっぱい！



令和6年度版

## 道路で何をしているのだろう？



何が見えるんだろう？  
気になるなあ  
(くわしく知りたいときは  
7ページを見てください)



➡ 「1 わたしたちの道」を開いてみよう。  
道の働きやたくさんの工夫が紹介されているよ。

## なぜ、川が氾濫することがあるの？



ニュースで見たことがある！  
わたしたちのまちは大丈夫かな。



➡ 「2 わたしたちの川」や「3 安全な暮らし」を開いてみよう。  
暮らしを守るために、どんな工夫がされているか発見してね！

みなさんの周りには、道や川は、わたしたちの暮らしにどのような関わりがあると思いますか。また、わたしたちの生活を支えたり、恐ろしい災害に備えたりするために、どのような工夫がされているでしょうか。

わたしたちの住む川崎のまちをより安全で暮らしやすいまちにするために、みんなで考え、協力していくことが大切です。

この本で発見した工夫を、みなさんの周りにはある道や川でも見つけてくださいね。みんなで川崎のまちをより良くしていきましょう。

川崎市建設緑政局

# もくじ

1

## わたしたちの道

① まちにある色々な道	2
② 道の働き	4
③ 住みよいまちの道づくり	6
④ 道づくりの工夫	8
⑤ 道と鉄道の立体交差	10
⑥ 橋の働き	11

2

## わたしたちの川

① 川崎を流れる川	12
② 今も暮らしに役立っている二ヶ領用水	15
③ 昔の川	18
④ これからの川	19

3

## 安全な暮らし

① 安全なまちづくり	20
② 恐ろしい災害 (地震・水害・がけ崩れ)	22
③ 災害から暮らしを守る	24
④ 避難について知っておこう	27

4

## 川崎の道の 今と昔

① 道路を通る人と乗り物	30
② 川崎を通る道	31
③ 昔からの六街道	32
④ 街の様子	33
⑤ 川崎の橋物語	34

川崎の道と川年表	36
かわさきの道と川クイズ	38

# わたしたちの道

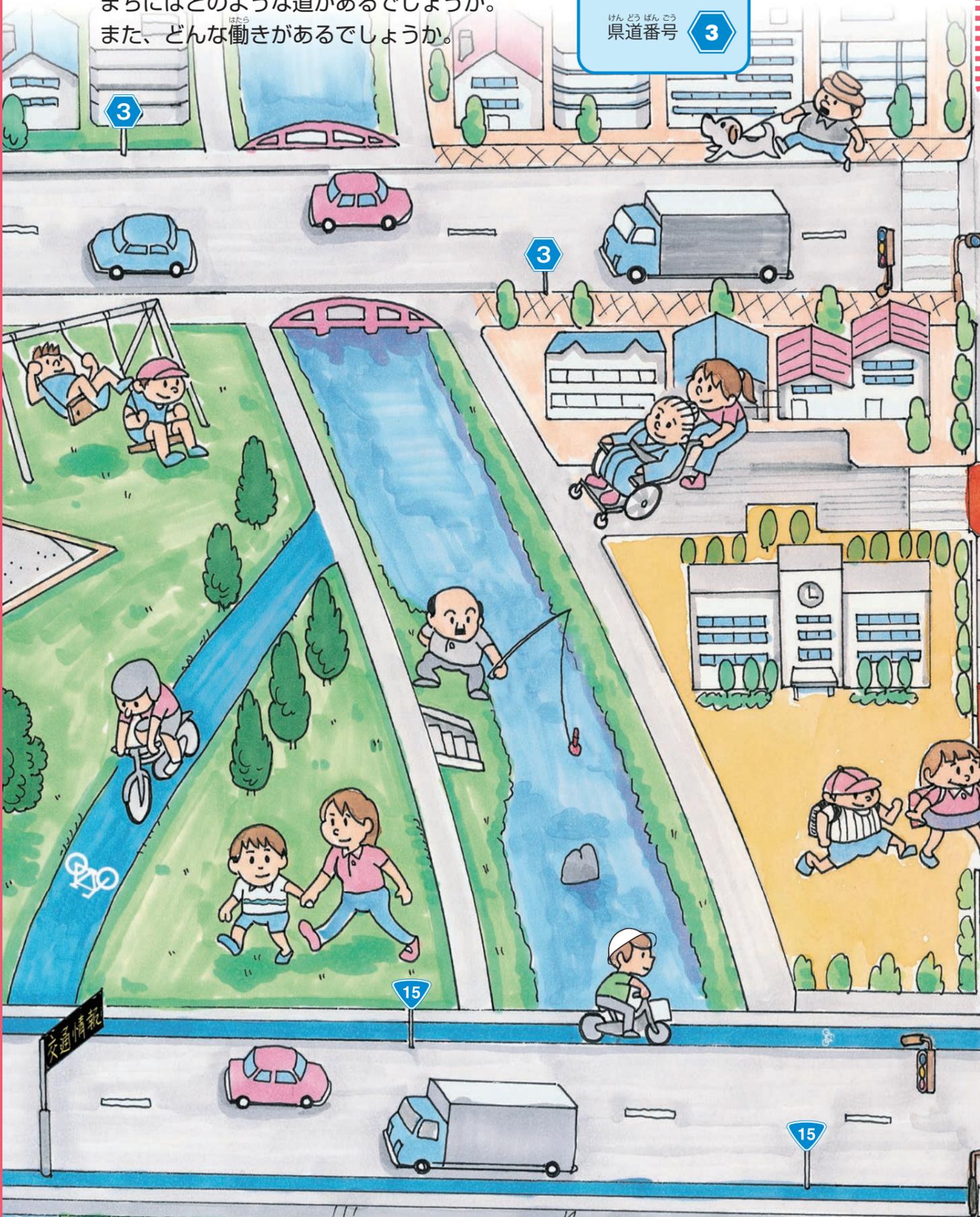
## ① まちにある色々な道

まちにはどのような道があるでしょうか。  
また、どんな働きがあるでしょうか。

道路標識

国道番号 15

県道番号 3



### 道の豆知識

川崎市には、次のような大きな道(国道)があります。

- 1
- 15
- 132
- 246
- 357
- 409

です。

その他に、県道、市道、私道などの道があります。

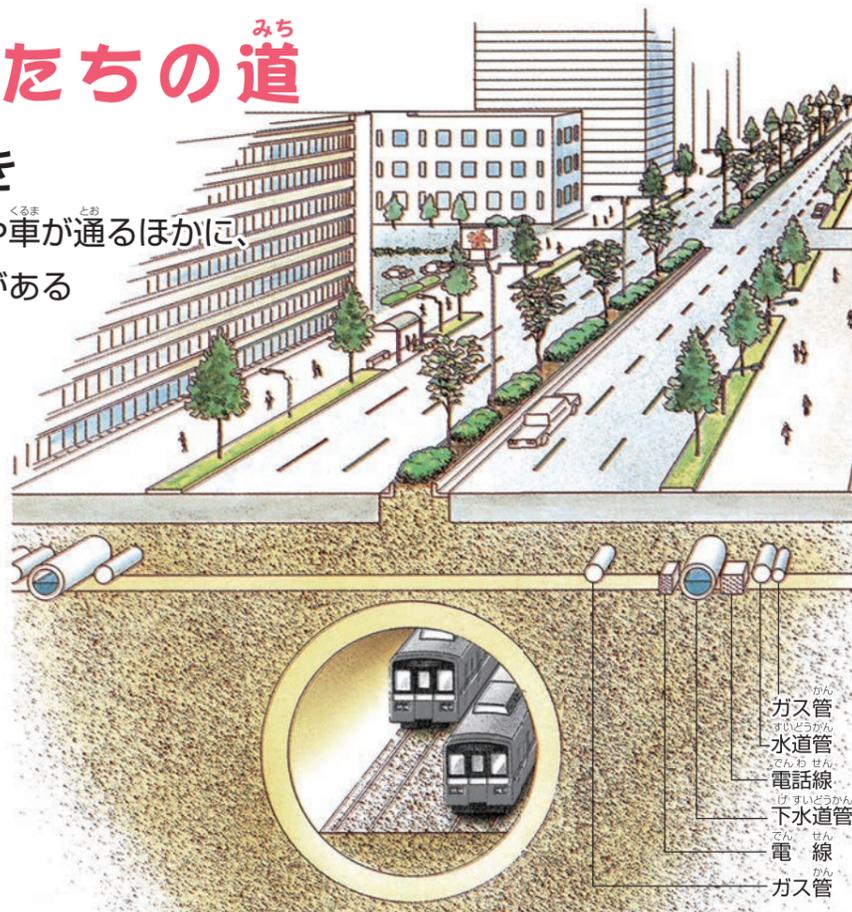
(もっと詳しく知りたいときは、31ページを見てください。)



# わたしたちの道

## ② 道の働き

道は、人や車が通るほかに、  
どんな働きがある  
のでしょうか。



道がつけられると、暮らしはどのように変わのでしょうか。



東京丸子横浜



中原8号線



国道246号



高速川崎縦貫線



道路は、わたしたちのまちや暮らしに、どのように役立っているのでしょうか。

### 1. 人や物を運ぶ



毎日の暮らしに欠かせない、食べ物や日用品、工業製品が道路を運ばれています。

### 2. 水道や電気、ガスなどを通す



生活に必要な水道や電気、ガス、電話線などが、道路の地下や上空を通っています。

### 3. 住みやすいまちをつくる



街路樹はまちの大切な緑です。光や風も道路を町の中に入ります。

### 4. 災害からまちを守る



災害が起きたときには、避難する人やみんなを助ける救急車や消防車も、道路を通ります。広い道路は、火事が広がることも防ぎます。

### 5. にぎわいを生む



お祭りやイベントで、まちのにぎわいを生み出しています。

# わたしたちの道

## ③ 住みよいまちの道づくり

もっと使いやすく、安全な道にするために、市役所では、どんな仕事をしているのでしょうか。

また、みんなが道を気持ちよく使うためにはどうすればよいのでしょうか。



歩道が整備されていない道

整備する前  
(高津区千年)



歩道が整備され、自転車の通行位置も分かりやすくなった道

整備した後  
(高津区千年)

これから、どこにどのような道がつけられるのでしょうか。



道を新しく作るだけでなく、より良い道にするために、道を定期的にパトロールし、点検や補修などを行っています。また、道路などを正しい位置につくるため、道路の測量を行い、基準となる点からの距離や高さを測っています。



道路の補修をしているところ



道路の点検をしているところ



道路の測量をしているところ

道路に自転車を止めると、歩く人に危険で、救急車などの緊急車両も通れなくなります。安全で使いやすい道にするために、わたしたちも協力しなければならないことがあります。



川崎駅東口のまわり (川崎区)



自転車を撤去しているところ

# わたしたちの道

## ④ 道づくりの工夫

道路には、どんなところにどんな工夫がされているのでしょうか。



### 安全安心な道

まちなかに電柱があると、歩ける場所が狭くなって危険になったり、大きな地震のときに電柱が倒れたりすることがあるため、電柱を無くし電線を地下に埋めています。また、みんなが安全で安心して道を使えるように、車や自転車と歩く人の道を分けたりしています。



電柱のない道 (川崎区)



歩道・自転車通行帯 (市役所通り) (川崎区)



歩行空間を緑色にして分かりやすく示している道 (幸区)

## 環境にやさしい道

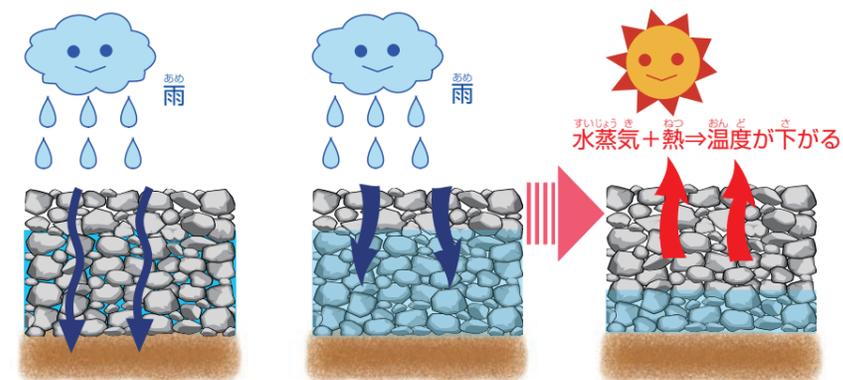
車の騒音を減らしたり、歩道を歩きやすくするために雨水を地下に通したりする舗装を行っています。また、雨の日などに溜めた水を晴れた日に蒸発させることで路面(道路の表面)の温度を下げ、夏の暑い日でも涼しく歩ける工夫をした舗装も行っています。



騒音を減らす道



雨水の溜まらない道



温度を下げる工夫をした舗装

## 高齢者や障がいのある人にやさしい歩道

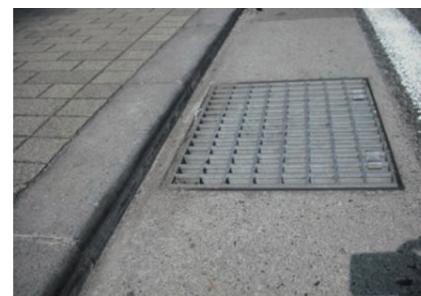
歩道の段差を少なくしたり、杖の先などが排水溝に挟まらないように目の細かい蓋に取り替えたりするなど、安心して安全に道を歩けるように工夫がされています。



歩道に勾配があり、転ぶ危険があります。



歩道の勾配を減らし、歩きやすくなった歩道



排水溝の網目が大きく、杖の先などが挟まる危険があります。



目の細かい蓋に取りかえた排水溝



# わたしたちの道

## ⑤ 道と鉄道の立体交差

道と鉄道が交差する場所には踏切があります。  
踏切には、どんな問題があるでしょうか。



平間駅前踏切(中原区)



塚越踏切(幸区)



道と鉄道を立体的に交差させ、踏切をなくすことで、安全で暮らしやすくなり、車の渋滞もなくなります。



立体交差になる前の武蔵中原駅付近(中原区)



鉄道が道路の上を走る武蔵中原駅付近(中原区)



産業道路踏切(川崎区)



鉄道が地下を通る産業道路踏切(川崎区)

## ⑥ 橋の働き

橋も、まちとまちを結ぶ道のひとつです。



多摩水道橋(多摩区)



多摩川スカイブリッジ(川崎区)



昭和14年に架けられた昔の大師橋



現在の大師橋(川崎区)  
(古くなったため平成18年に架け替えが完成)

川に架かる橋だけではなく、鉄道を跨ぐ橋、道路を跨ぐ橋などもあります。  
(橋についてもっと詳しく知りたいときは、第4章の34ページを見てください。)



鉄道の上を通る柿生大橋(麻生区)



道の上を通る下原橋(多摩区)